禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B2

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 造園 学科試験問題
(造園工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　借景とは、他の庭園の一部を箱庭式に取り入れた景観をいう。

2　織部灯籠（とうろう）は、宝珠、笠、火袋、中台、竿及び基礎の部分によって構成されている。

3　カナールとは、噴水のことをいう。

4　びしゃんは、切石の表面を磨く時に使用する工具である。

5　ターンバックルは、ねじによる引締め金具である。

6　造園工事の施工順序は、一般に、次のとおりである。
　盛土・粗整地工 → 地割工 → 植栽工 → 石組工 → 芝張工

7　工程表作成において、逆算法は、竣工期日から各工事の施工期日を割り当て、工期を決めていく方法である。

8　高木を掘り取るときの根鉢の直径は、一般に、幹の根元直径の2倍にするのがよい。

9　流れの部分の石組みは、流れ尻に行くほど角のある石を多く使うのがよい。

10　マサキモザイク病やツバキ斑葉病は、ウイルスが病原である。

11　イラガの幼虫は、雑食性で、葉を食害し、触れると激しい痛みにおそわれる。

12　小透（こず）かしとは、太い枝を幹の付け根からのこぎりで剪定する方法をいう。

13　労働安全衛生法関係法令によれば、移動式クレーンの玉掛け用ワイヤロープには、安全係数が5のものを使用してもよい。

14　普通れんがは、積み上げる前に十分に乾燥させておくとよい。

15　インターロッキングブロックで園路舗装する場合は、砂利あるいは土で据えるとよい。

16　石灰質の土壌改良材は、酸性土壌の改良に適している。

17　樹木の根系とは、直根(主根)、側根及び細根のことをいう。

18　オガタマノキ、ヒイラギ及びハクモクレンは、いずれも常緑高木である。

［A群（真偽法）］

19　ピートモスは、無機質土壌改良材である。

20　ケヤキの繁殖は、主に、実生による。

21　日本産業規格(JIS)によれば、寸法補助記号φは、半径を表す。

22　レベルやトランシットを用いて測量する場合、接眼レンズを覗き、十字線がはっきり見えるように調整しなければならない。

23　都市公園法関係法令によれば、砂場は、遊戯施設に含まれる。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合において、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、当該作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業に労働者を従事させてはならないと規定されている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、高所作業車を用いて作業を行うときは、乗車席及び作業床以外の箇所に労働者を乗せてはならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

1　茶庭に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　飛石、蹲踞及び石灯籠は、茶庭の構成要素である。

ロ　二重露地には、外露地と内露地がある。

ハ　茶庭の設計・施工に当たっては、茶事についての知識や心得はなくてもよい。

ニ　茶庭は、茶室へ至る道すがらを、深山幽谷の景をもって表現する。

2　室町時代に造られた庭園として、正しいものはどれか。

イ　毛越寺庭園

ロ　慈照寺(銀閣寺)庭園

ハ　兼六園

ニ　岡山後楽園

3　蹲踞の役石として、使われないものはどれか。

イ　手燭石

ロ　関守石

ハ　湯桶石

ニ　前石

4　竹垣製作の際に使用しない工具はどれか。

イ　竹ひきのこ

ロ　つき棒

ハ　木ばさみ

ニ　こやすけ

5　建設機械とその施工用途の組合せとして、適切なものはどれか。

	(建設機械)	(施工用途)
イ	トラクタショベル	土の積込み・運搬
ロ	バックホウ	転圧
ハ	ランマ	運搬
ニ	振動ローラ	掘削

6　根巻きの方法で、揚げ巻きの説明はどれか。

イ　根鉢を、穴より出して根を巻く方法

ロ　根についている土を全てふるい落とす方法

ハ　根鉢を、そのまま穴の中で巻く方法

ニ　長い根を掘り取り、根全体をまとめて簡単に巻く方法

［B群（多肢択一法）］

7　街路樹に最も多く使用されている風除け支柱はどれか。
　イ　布掛け支柱
　ロ　八つ掛け支柱
　ハ　鳥居形支柱
　ニ　樹木地下支柱

8　フジに適した掘取り法はどれか。
　イ　凍土法
　ロ　根巻き
　ハ　ふるい掘り
　ニ　追い掘り(探り掘り)

9　庭園で音を楽しむ施設はどれか。
　イ　降り蹲踞(つくばい)
　ロ　鹿おどし
　ハ　トレリス
　ニ　パーゴラ

10　最も短期間で芝生が完成する張り方はどれか。
　イ　べた張り
　ロ　市松張り
　ハ　筋張り
　ニ　目地張り

11　今年の新枝に花芽をつけ、今年の内に開花する花木として、誤っているものはどれか。
　イ　サルスベリ
　ロ　ヤマボウシ
　ハ　モクセイ
　ニ　アベリヤ

12　樹木の剪定に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　平行枝及びからみ枝は、剪定する。
　ロ　ひこばえ(やご)及び徒長枝は、剪定する。
　ハ　ふところ枝は、剪定する。
　ニ　樹勢の強い部分の枝は、弱剪定をする。

［B群（多肢択一法）］

13　次のうち、一般に、造園作業におけるれんが積み工事の1日の積み高さとして、適切なものはどれか。

イ　4.4m
ロ　3.2m
ハ　2.4m
ニ　1.2m

14　一般に、公園の排水配管の勾配として、適切な値はどれか。

イ　約1～2%
ロ　約5～6%
ハ　約10～11%
ニ　約15～16%

15　コンクリートの締固めに使用される棒形振動機(バイブレータ)の使用方法として、適切でないものはどれか。

イ　使用時に型枠に当ててはならない。
ロ　鉄筋に当てながら使用する。
ハ　引き抜くときは、徐々に引き抜く。
ニ　差し込むときは、鉛直に差し込む。

16　ニレ科の樹木はどれか。

イ　コブシ
ロ　ケヤキ
ハ　ハナミズキ
ニ　ニセアカシア

17　球根類はどれか。

イ　グラジオラス
ロ　ノコギリソウ
ハ　ラベンダー
ニ　オダマキ

18　雌雄同株の樹木はどれか。

イ　アオキ
ロ　モチノキ
ハ　アカマツ
ニ　イチョウ

［B群（多肢択一法）］

19　イロハモミジに関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　葉序は、対生である。
ロ　実は、翼果で、実生もできる。
ハ　樹液の流動期が早い。
ニ　寒冷な気候には適していない。

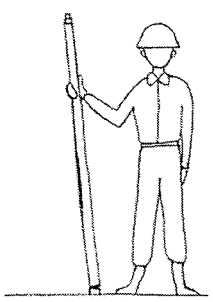
20　陽樹と陰樹の組合せとして、誤っているものはどれか。

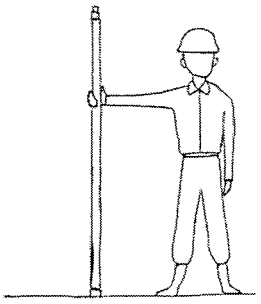
	(陽樹)		(陰樹)
イ	ハナカイドウ	・・・	アオキ
ロ	イチイ	・・・	ハナミズキ
ハ	ソメイヨシノ	・・・	ヤツデ
ニ	イチョウ	・・・	カヤ

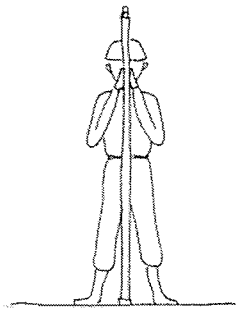
21　造園計画の一般的な手順として、最も適切なものはどれか。

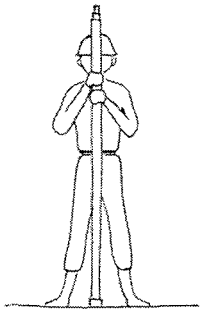
イ　実施設計 → 基本設計 → 基本計画 → 現地調査
ロ　現地調査 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計
ハ　基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 現地調査
ニ　基本計画 → 現地調査 → 基本設計 → 実施設計

22　レベル測量の標尺の持ち方として、最も適切なものはどれか。


イ


ロ


ハ


ニ

［B群（多肢択一法）］

23　次の公園施設のうち、便益施設でないものはどれか。

イ　売店
ロ　管理事務所
ハ　駐車場
ニ　便所

24　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

都市公園法関係法令によれば、地区公園は、(　　)に居住するものが容易に利用できるよう配置するものとし、その敷地面積は4haを標準として定めることと規定されている。

イ　街区内
ロ　近隣
ハ　徒歩圏域内
ニ　バス圏域内

25　クレーン業務に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　つり上げ荷重が1トン以上の移動式クレーンの玉掛けの業務は、熟練者であれば、資格等がなくても行うことができる。
ロ　つり上げた荷を水平移動させる場合は、原則として床上2m以上の高さを保ち、通行者、障害物、架空電線等の有無を確かめて水平移動させる。
ハ　操作に関し、合図の方法と合図指示者を定め、関係者に周知させる。
ニ　運搬重量、つり重量は、あらかじめ確認する。